53 1/28 (土)

（第三種郵便物認可）

極まった〝高校の荒廃〟

校長、父兄〝暴力保護願い〟

一年生ケガ人続出

二年生に乱暴集団 打つ手なく警察へ

都立深沢高校

学園内の暴力事件に揺れる都立深沢高校

東京・世田谷区の都立深沢高校（笠井幸校長、生徒数千八十一人）で、最近の数か月、二年生の一部生徒グループによる一年生などに対する暴力が目立ち、特に昨年暮れからは学外での暴力事件が相次いだため、二十七日には、たまりかねた学校長と、被害生徒のうち特にねらわれている四人の父兄が、連名で生徒について異例の〝身辺保護依頼〟を地元の玉川署に出した。乱暴の原因は、「二年生が生意気なかっこうをしている」「あいさつもしない」などといった単純なものだが、被害者の中には、なぐられて意識不明になったり、約二か月も通院する大けがをした生徒も出ている。同校では、この日から始まった三年生の期末テストにも身が入らず、〝暴力対策〟に懸命だが、受験シーズンの追い込み時期に発覚した都立高校の暴力事件に、教育関係者もショックを受けている。

学校などの話によると、暴力事件が目立ってきたのは、昨年春、一年生が入学して以来のこと。暴力生徒のリーダーはすでに他の高校二校で退学処分を受けた十九歳の二年生。被害を受けた生徒たちの話では、このリーダー格の少年は「ボクシングの四回戦ボーイ」と言われており、町の暴力団とつながりがあることは学校側も認めている。

この二年生を中心に、学内、学外の生徒たち十数人がグループを作り、「態度が生意気だ」「突っ張っている」という理由で、二年生のなかで目立つ男生徒たち十数人に対し、暴力とおどしを続けてきた。

このグループの暴力は昨年来までは表面化せず、教師や父兄の耳に入ることはなかったが、昨年十二月、一年生のA君が下校途中に学校近くの駒沢公園に呼び出され、約十人の上級生から殴るけるの暴行を受け、一挙に一連の暴行、脅迫事件が明るみに出た。A君の話によると、グループからの暴走族グループへの入会の勧誘を受けたが、それを断ったために暴行を受けたという。

仕返しを恐れてA君は多くを語らないが、A君の父親（四二）の話では「まだ動くぞ、また息してるぞ、と言いながら殴ったそうです。足をひどくやられたのですが、骨折はしませんでした。それでも一か月ほど病院に通いました」と当時のことを話している。

きらに、「子供さんのなかには恐ろしくて学校を休んでいる者もいると聞いています」と、心配そうだ。

また、A君とは友達で別のクラスのB君一さが、仲間四人といっしょに乱暴されたのは、三学期の始業式があった去る九日昼過ぎ。二年生七、八人に校外に呼び出され、A君と同じように駒沢公園の植え込みの中に連れて行かれ、約三十分間にわたって顔などになぐるけるの乱暴をされた。

リーダーの二年生二ら」の指示で、鉄けんやビンタを加えたほか、オートバイ用のヘルメットで頭を何回もなぐりつけ、四人とも顔面がはれ上がり血で真っ赤になったという。一番なぐられたB君などは、しばらくの間意識不明になったほど。近所でマスクを買ってはれた顔をかくし、ドロだらけのまま夕方になってそれぞれ帰宅したという。

このほかにも、乱暴されたり、パーティー券を強制的に買わされたケースも多い。昨年末には、スキーに誘われ、それを断った十数人の一年生が学外に呼び出されて、脅迫されたこともある。

こうした学園の暴力に対し、学校側はリーダー格の少年についても退学を含めた処置を検討しているが、同暴力グループからの証言が全く取れず、さらにまた被害にあった少年たちも「リーダーが手を下したことはない」という証言ばかりで、処分に踏み切れずにきた。

学校側のこれまでの対抗措置といえば、ある生徒には「先生が一緒に帰ってやろうか」、あるいは「呼び出しにはどんなことがあっても応じるな」といった程度。

ことしにはいり生徒指導部の先生たちは、連日この問題をめぐり会議を開き対策に頭を痛めたが、有効策はなかった。そこで、春休みを控え、今後、生徒たちの保護に目が届かなくなるため、二十七日の学校長、父兄名の〝届け出〟となった。

小倉寛教頭自身が「長い教員生活でもこんな保護依頼は初めて」という珍しい申し込みを受けた玉川署は「早速調査に当たるが、四人の生徒さんたちを四六時中警戒するわけにもいきません。何かあったら一一〇番して欲しい」（玉川署・園田惣四郎次長）と話している。

法律よりも社会の責任

部教委では「初耳だ。校長が連名で〝保護願い〟を出した、なんて聞いたことがない」とびっくり。杉村親一高校指導課長は「定時制も含め九六％という進学率なので、生徒が多様化し、生活指導も難しくなっているが、ここまでくるとは」と話している。

また、こうした風潮について、教育心理学者の多湖輝千葉大教授は、「現在の子供たちは、情報化社会の中で、物が見えており、心理的なメカニズムが昔と違っている」点を指摘。

そのうえ、「国家に対する帰属心や社会への忠誠心が要求される時代とも違い、勉強する意味もわからないまま、成績も思わしくないことなどから、学歴社会に対するばく然とした反発が生まれ、未来の生活に明るいイメージを描けないのでは」と現状を分析している。

暴力事件は、こうした実情も一因、とみるのだが、「法律で取り締まればすむ問題」ではなく、やはり社会全般が、自ら律していく習慣をつけなくては」と話している。

名菓 千鳥饅頭
チロルの名菓 プロリアン

ロック、将棋倒し死ぬ

札幌で八人重軽傷 それでも演奏やめず

【札幌】二十七日午後八時十分ごろ、札幌市中央区南十二西四、中島スポーツセンターで開かれていたロックグループ「リッチー・ブラックモアズ・レインボー」の公演で、詰めかけていたファンが興奮してステージに殺到、約三十人が将棋倒しになった。

このため、下敷きになった同市中央区の短大一年川原田順子さん（二）が死亡、同市北区の会社員川村奈々子さん（二〇）や中学生など八人が胸や手足を打って、病院に収容された。

このため、同スポーツセンターの木村万治郎館長が、札幌・南署を通じ、「危険だから中止するように」と再三、公演中止を申し入れたが、主催者側はこれを受け入れず、午後九時四十五分までプログラム通り公演を続けた。

同署の調べによると、同グループを招いたのは東京・青山のウドー音楽事務所で、札幌公演は「キョードー札幌」の企画。

公演は午後六時半開演したが、第一部のあと約四十分待たされて八時からグループの演奏が始まった。いらいらしているとこ

成田銘菓 柳屋ようかん

大吠埼
決定
新築三周年特別奉仕
成田山初詣でと初日の出の旅
2月末日まで団体10名様以上／1泊2食 清酒1本付
6,000円(全込)お申込はお近くの旅行代理店へ